

宮腰沖繩及び北方担当大臣表敬訪問及び研修会報告書

1. 日程：平成30年10月23日（火）
 2. 場所：合同庁舎第8号館 8階 特別中会議室
 3. 研修会テーマ：「新たな環境の下での北方領土問題への取組について」
内閣府北方対策本部 参事官 齋藤 馨 氏
 4. 参加者：伊東、森岡、辻（泰）、小柳、村井、中村、高野、成川、柴沢 計9名
 5. 報告者：成川正幸
 6. スケジュール
- 9:00 黒部宇奈月温泉駅発（行き移動）
- 15:00～15:30 宮腰大臣表敬訪問
- 16:00～17:00 北方領土問題研修会
- 18:04 東京発（帰り移動）
7. 目的：本市との関わりが大きい北方領土問題に対して、最近の動きと今後を学ぶ。
 8. 内容：

宮腰大臣表敬訪問

北方領土返還要求に関する要望書提出

北方領土返還要求に関する要望書

昭和20年8月から不法占拠により我が国、固有の領土である北方領土への道は固く閉ざされ、納沙布岬から見える水晶島は、はるか遠いままです。

同年12月1日の安藤石典根室町長より返還要求運動は始まり、返還されるその日を待ちわび、先人は、長く厳しい活動を続けてきました。

また、本市は、北方領土からの引揚者が多いことや、根室市との姉妹都市提携が40年以上続いていることから、北方領土の返還について市民の関心が非常に高く、その日を切望しています。

こうした中、北方領土返還は、本年9月10日に通算22回目となる日ロ首脳会談が開催されました。また、11～12月に予定されているアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議や20カ国・地域（G20）首脳会議に合わせて、安部首相とプーチン大統領との日ロ首脳会談も大いに期待されます。

よって、本市議会は、北方領土返還の実現にむけた効果的な要求運動の推進、北方四島交流事業の拡充と新たな取り組みである「北方四島における共同経済活動」の実現に向けた協議を加速することを強く要望します。

平成30年10月23日

富山県黒部市議会

新政会 代表 木島 信秋

新風の会 代表 山田 丈二

新樹会 代表 辻 靖雄

景政会 代表 伊東 景治

一新会 代表 新村 文幸

(1) 北方領土問題

基本方針「北方四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結する」

9月以降、動きなし。

(2) 新しいアプローチ

北方領土問題は70年以上1mmたりとも動いていない。⇒新しいアプローチで交渉を進める。

(3) 日露首脳会談

経済活動、人道的活動を進めていく。

共同経済活動

9月10日 日露首脳会談で成果と取組を確認。スケジュールまで落とし込んだものを話し合う。更なる改善を働きかけ、手続き簡素化継続で一致。

(4) プーチン発言

9月12日 東方経済フォーラムの平和条約発言（安倍⇒領土問題を解決して平和条約、プーチン⇒平和条約に署名してから領土問題）

相手方の発信に対していちいち過剰に反応しない。

(5) 取り巻く環境

元島民・運動員の高齢化で今までと同じ説明では理解していただけない。今後、インターネットなどでの情報周知を加速させる。

広報は正攻法で新聞テレビだったが、情報行動の激変でポータルサイト、スマートフォン、ソーシャルメディアが主流になっている事から若年層を意識してSNSをしっかりと使う。また、各地の取り組みの見える化をする。

ホームページ閲覧率が伸びていない。インターネットを活用されていない。

(6) 内閣府の独自政策

小・中・高校で北方領土問題を学ぶ事が重要である。修学旅行招致活動を行い、下見ツアーとして教員や学校関係者を対象に事前調査。東北、九州の先生にも参加していただいた。

(7) 北方対策本部平成31年度予算概算要求（案）のポイント説明

概算要求額 18億51百万円

- ・修学旅行誘致促進対策経費
- ・若者向け情報発信拡充等事業費

(デジタルコンテンツの充実)

- ・北方領土教育関係に関する調査研究
- ・「ねむろ地域」の魅力再発見・発信シンポジウム開催
- ・四島交流事業の安定的な実施経費
(えとぴりか)

(8) 北特法の改正 (平成 31 年 4 月 1 日施行) について

- ・北方領土隣接地域振興等基金の取崩し
- ・共同経済活動に関する記述の追加
- ・財政上の配慮等に関する規定の見直し

(9) 旧漁業権者法の改正 (平成 31 年 4 月 1 日施行) について

- ・融資対象者の拡大

(10) 質問

- ・元島民は昔の思いでは残っているのか
- ・プーチン発言で前に進んでいるのか
- ・北隣協 (北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会) に姉妹都市は入れないのか
- ・北方領土問題に関心を持ってもらうために NHK ドラマ誘致をしてはどうか

9. 写真





10. 所感

日露平和条約締結、北方領土早期返還。いつになるのか先が見えない交渉。領土問題を熟知している宮腰大臣には本当に期待をしたい。私たちが出来る事は、忘れない事、運動を次世代に引き継いでいく事、そして返還をあきらめない事である。

今回の勉強会で現在の動きが良く分かった。